

くらしを支え 安心して教育に打ち込める賃金引き上げを!

12日～20日、都労連統一行動の批准投票です

全教・都教組
杉並支部ニュース

東京都教職員組合
杉並支部情宣部
2022年
10月5日
4号
Tel 3399-8719
Fax 3399-3855
支部ホームページ
<http://tokyusosuginami.web.fc2.com>

すぎなみ革新塾
10月9日13時30分
東京土建杉並支部

みんなの願いを実現しよう

- すべての職員の賃金の引き上げ
国の勧告は、月例給引き上げゼロ、ボーナスはたったの0.1月引き上げ。初任給引き上げは3000円（大卒）。民間との差は依然大きい。この秋、資源高騰や円安などを要因とした値上げによる家計負担増は1世帯8万円。給料の引き上げは切実です。
- 長時間過密労働解消
授業の持ち時間数の縮減、教職員定数改善など具体的実効性のある措置が必要。
- 会計年度任用職員の雇用確保と待遇改善
低額の定額報酬を改善し勤続年数に応じた昇給措置を。常勤職員との均衡待遇を。
- 高齢期雇用制度の改善
退職手当支給率引き上げ、早期割増制度拡充。55歳昇給抑制措置の廃止と退職手当の改善。勸奨退職制度の改善。

都労連・都教組の今年の重点要求

- 1 くらしを支え、安心して教育に打ち込める大幅賃金引き上げを!
- 2 1年単位の變形時間労働制導入阻止! 長時間過密労働解消、教職員定数大幅増、持ち時数軽減業務削減を!
- 3 あらゆるハラズメント根絶、全ての区市町村での防止指針と相談窓口設置を!
- 4 会計年度職員の雇用確保、賃金、処遇改善を!
- 5 島しょ教職員の格差解消、賃金・処遇改善を!
- 6 無年金期間にふさわしい再任用職員の給与水準改善を行え! 希望者全員の雇用を!
- 7 条件付教職員採用、期限付任用職員全員の正式採用を行え!
- 8 教育壊す職責・能力・業績主義強化反対、人事考課制度の抜本的見直しを行え!
- 9 勤務成績による昇給・成績率決定、「職の分化」による差別・分断を許すな!
- 10 教員2級賃金改善、昇給カーブフラット化是正を!
- 11 学校事務職員・栄養職員にふさわしい人事給与制度を実現せよ!
- 12 福祉関連要求・両立支援策前進を!
- 13 55歳昇給抑制の廃止! 退職手当の改善で、安心して働ける高齢期雇用制度を実現せよ!

都教組
自転車保険 弁護士プラス
好評につき、締切を
10月7日まで
延長しました!
お問い合わせは...
指定代理店:桜保険事務所
Tel 042-467-4152
引受保険会社:東京海上日動火災保険(株) 2022.9



運動会で大活躍
好評です 杉並支部の貸し出し「パーラック」

杉並支部には、学校での教育活動に活用していただこうと貸し出しの「和太鼓」「締太鼓」「パーラック」「四つ竹」「鳴子」などがあります。当時の教職員の主任手当拠出金によるものです。運動会や学習発表会の折には、どうぞご連絡・ご活用ください。

今年の春の運動会でパーラックを使った子ども達からお手紙が届きました。その一部をご紹介します。

パーラックとばちを貸してくださりありがとうございました。運動会当日は全員一になって、パーラックとばちの向きがいつしよになり、最高の表現ダンスとなりました。ありがとうございます。中学校に行ってもが験になりました。(Oさん)

んばります!(Kさん)



来年度の杉並区教育予算について、区教委に要請

去る8月26日の要請における区教委の回答（要旨） 文責は杉並支部



少人数学級について

- ・35人学級の実施を早めることについては、特別区の学務課長会を通じて要望を出している。
- ・特別支援学級の定員改善については、特別区の動きを見ている。

区のカウンセラーについて

- ・区のカウンセラー復活の計画はない。ただ、子どもたちの不安に対応するというのは喫緊の課題なので、東京都の確立されているカウンセラーの複数配置、学校の規模に応じた出勤回数増により様々な対応ができるようにしていきたい。
- ・緊急を要する対応も予想されるので、今年度から教育相談担当に常勤の心理職を1名増員している。引き続き学校からの相談に応じながら対応していきたい。

宿泊を伴う行事におけるPCR検査について

- ・緊急事態宣言が発令された場合や訪問先で検査を要請された場合は考えているが、今のところは考えていない。検体検査と検査結果の間のタイムラグやPCR検査の特性を考えると、一律にやる方がいいのか、慎重に考える必要がある。今後状況が変わる場合には臨機応変に対応していきたい。

養護教諭の複数配置について

- ・実際には難しい。学級数によっては複数配置もあるが、ただ、コロナ禍にあって、病休、産育休というケースのところでは学校は大変な思いをしているので、東京都にも至急対応できるように要請している。我々も人を探すが対応をしている。

教員不足、代替が見つからない問題について

- ・現場が大変苦勞していることは分かっている。都としては、今回をふまえ、来年度の採用については色々考えていると思う。一方で、大学の教員養成のところでも半数以下しか教員にならないという。教員の採用時期について3年生からという検討もあるが、色々課題も出てくる。今は変換期にあるのかなと思っている。
- ・学校司書の産育休は実際に入っている。
- ・特別支援学級の専門委員については、都が配置している人員になるが、産育休などの場合はすぐ新しい人の配置とはいかないが、都の方で必ず配置するという流れになっている。

支援員の増強について

- ・ICT支援員については毎年少しずつ増やしている。他区より手厚いのではないかと。年度の切り替えの時の問題については、課題と認識していて、先生方の負担にならないようにやり方を考えている。また、ICT員の配置についても、年度切り替えのところで繁忙期に勤務回数を集中させるというような対応など検討、対応をしていきたい。ただ、個人情報の取扱いについては慎重にしなければならないので、なんでも業者任せにはできない。予算の制限もあるので急に増やすのは難しいが、少しずつ

増やすとか回数を忙しい時に集中してほしいとか、そういう調整はしていきたい。

校門警備について

- ・すぐに元に戻すのは難しい。ただし、事務職員に業務が集中するというのは懸念している。警備員が不在の時の児童の在校時間帯は、電子錠の作動により通常管理し、その間の来校者対応は事務職員だけでなく学校全体で皆さんが協力してほしい。
- ・今、校門警備員がやっているところは少なくなっている。子どもの安全は校門だけでできるの？通学路はどうなの？防犯カメラは？などと、どこにお金をかけるか考えないとけない。

プール指導補助員への事前説明について

- ・基本的な仕事内容や勤務形態については、事前にしっかり周知するのは当然のことで徹底していきたい。

中学校の部活動について

- ・杉並区では、これまで、先生方の負担軽減や生徒にとっても望ましい部活というのは、いくつかの支援策の中でやってきた。今高円寺学園で新しい部活の支援モデルをおこなっているので、今年度の検証を行い、来年度以降、支援の展開とか他の学校へも展開できるように進めていきたい。

非常勤教員について

- ・今回、教員がものすごく不足した。昨年は非常勤教員をしばったので、今年はベテランの方の力を借りなければならぬと都教委も考えているのではないかと。

小学校低学年対応について

- ・校長のヒヤリングからも「今、2・3年生が大変だ」という話を聞いている。ベテランで力のある教員を高学年に持っていかなざるを得ないということもあるようだ。他の自治体では低学年にアシスタントを付けるというのを聞いているので、人企としても情報を集め、都教委から何らかの支援策が出てきたら対応していきたい。
- ・学習支援教員は配置しているが、直ちに増やすのはもう少し議論が必要。週2日とかなると社会保険とか家族扶養に入るか入らないかなどにより、やめる方も出てくる可能性もある。
- ・支援員については1年生に特化する考えはないが、学校に配置しているので、校長の裁量で自由に活用してよい。
- ・毎年々々増員を要求して人を増やしているが、財務の面から「大変だから増やして」では増やせない。「どういった場面」で「どういった支援」が必要なのか、具体的な支援の理由を調査し把握して対応していきたい。

巡回の特別支援教室の諸問題について

- ・教員配置は、前年度末の認定者数に見合う教員数によるので、2学期に増えてもそれに見合う教員は来ない。それは東京都の方針が、ずっと特別支援教室を利用していくのではなくて、一定数一定程度当初の目標を完遂されれば退室ということを強く打ち出しているからだ。この辺りは議論していかなくてはならない課題が残っている。
- ・電子黒板については、液晶とか見やすいものとか使い勝手がよいものとか、設置の場所とかを精査して改善整備したい。
- ・パソコンは、巡回先において利用時間を調整して活用してもらいたい。

(以下は次号に続く)